

## 土のリン酸・カリが多い水田では苗箱施肥が合理的

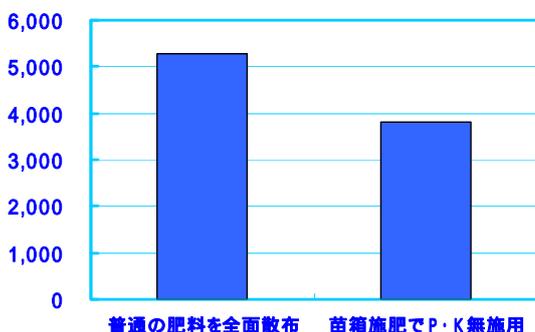
### 【 1 成果の概要】

- (1)土のリン酸とカリが一定の量（無施肥可能な水準(それぞれ 30、40mg/100g 以上蓄積)）を超えた水田では、リン酸とカリ肥料は必要ありません。
- (2)この場合、水稻の育苗箱に田植え後に必要なチッソ分をすべて入れて、苗と一緒に水田に持ち込む苗箱施肥専用肥料（肥効調節型肥料入り）が適します。

### 【 2 効果】

#### (1)肥料代が安くなります

チッソ・リン酸・カリが入った普通の肥料を使うより苗箱施肥専用肥料は約 3 割も安上がり。



元肥と追肥の肥料代 (円 / 10 a) の比較

苗箱施肥では、播種機につける専用肥料の施肥機(ホッパー等)の償却費もコミ。

#### (2)肥料散布の手間が省けます

育苗箱に入れた専用のチッソ肥料が生育後半まで効くので、元肥と追肥とも散布する必要がありません。



播種機の床土用のホッパーのあとに苗箱施肥専用肥料のホッパーを取り付けます。



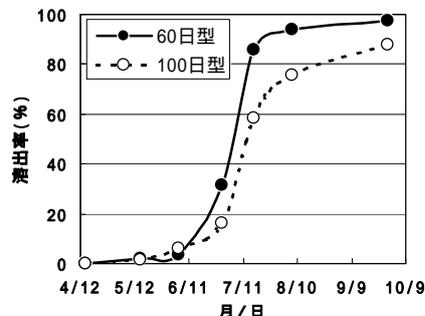
床土の上に専用肥料が層になって入ります。  
(写真は 1 箱に 700 g の様子)



かん水のあと、種もみを播き土をかぶせます。



田植えの頃の苗の様子 (左写真) 帯状に白く見えるのが専用肥料チッソ肥料の尿素を特別な樹脂でくるんだもので、育苗の間はほとんど溶け出さず、田植えで苗と一緒に田に入ってから効き始めます (右グラフ)。



### 【 3 留意事項】

苗箱施肥については平成 9 年度の試験研究成果「初期溶出抑制肥効調節型肥料による水稻育苗箱全量施肥技術の特徴」を参照してください。